

No. 1

(行政視察 政務活動 議員研修) 報告書

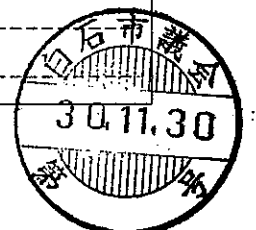
平成 30 年 11 月 30 日

白石市議会議長 志村 新一郎 殿

議員氏名 小川 正人

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成 30 年 11 月 15 日 (木) ~ 11 月 16 日 (金)
調査・研修先	富山県 魚津市 富山市
調査事項 (研修事項)	魚津市 インバウンドの取り組みについて 富山市 セーフ環境スマートモデル街区整備事業
対応者・講師等	魚津市 商工観光課 観光係長 高森哲也氏 富山市 環境政策課 竹田法信氏
概 要	インバウンド事業概要
① 背景・目的	
② 内容・特色	○平成 28 年 1 月に台湾インバウンド実行委員会設立
③ 主な質疑	
④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	構成員 市長(会長)、議長、商工会議所 観光協力、農協、漁協 自治連絡協議会、飲食業組合、他 9 団体
	設立趣旨 富山県を訪れる外国人観光客の中で最も多いのが、富山空港から直行便のある「台湾」となっていることから、ターゲットを「台湾」に絞っての事業実施を行うこととした。
	事業概要 平成 27 年度 ※台湾現地での PR 活動 ○「台北国際旅行博」出展並びに台北市内旅行業者等へのプロモーション活動 ○台湾旅行業者視察団受入事業 参加者 33 名 (26 社)



平成 28 年度				
※メディア招へい事業				
○じゃんとい魚津まつりにメディア招へい				
参加者 4名 ブロガー 2名				
雑誌社 1名				
ネット関係 1名				
○黒部、宇奈月温泉観光局とメディア招へい				
参加者 3名				
※現地雑誌掲載等				
○台湾の地下鉄内での広告掲載				
平成 29 年度				
※受入体制の整備				
○音声ガイドシステムの導入				
○外国語指さし会話シートの作成・配布				
※台湾現地での PR 活動				
○台湾における広域観光商品提案会への参加				
○台北 SOGO で開催された日本物産展への出展等				
※メディア招へい事業				
○長野県飯山市と合同でメディア招へい 4名				
○立山、黒部アルペンルートと連携したメディア招へい 3名				
○朝日町と連携したメディア招へい 3名				
予 算				
平成 28 年度 27,600 千円				
平成 29 年度 17,260 千円				
平成 30 年度 5,960 千円				
インバウンド事業の評価				
○外国人宿泊者数				
	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	目 標
総 数	4,368	5,715	7,308	22,000
台 湾	1,566	1,635	1,719	
アジア圏	1,895	2,856	4,543	
その他	907	1,224	1,046	

	<p>※インバウンド事業の今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実行委員会の名称変更 ○魚津の魅力の発信とおもてなしの強化 ○広域レベルでの事業展開 <p>※その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○台湾人女性を市役所で勤務していただき、通訳や案内係とし成果がでているとの事である。 ○今後は香港の人達にもPRしていきたいとの事である。 ○看板等を外国語で表示するそうである。 ○カード決算の導入を検討中であるとの事。 <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○こちらから現地に行ってPRするのも大切であるが、相手の国の人達も無料で招待してよく理解していただきPRしてもらおうべきと感じた。 ○近くの地区が連携して活動すべきと思う。 ○白石市はホテル等が少ないので、通過点としての観光でしかたがないと思われる。 ○白石城、甲冑、刀等をPRすべきである。 ○予算は多少は考えるべきである。国、県の補助を検討、利用すべきである。 ○行政を中心としながらも、各種団体参加のもとオール白石で推進すべきである。 <p>富山市</p> <p>セーフ環境スマートモデル街区整備事業</p> <p>事業概要</p> <p>小学校跡地に交番、保育所、公民館等の施設を集約し「質の高い生活環境」を提供する住宅街区を、公民連携（PPP）の手法により一体的に整備した事業</p> <table border="0"> <tr> <td>公共施設面積</td> <td>2,236.10 m²</td> </tr> <tr> <td>住宅街区</td> <td>6,145.16 m²</td> </tr> </table>	公共施設面積	2,236.10 m ²	住宅街区	6,145.16 m ²
公共施設面積	2,236.10 m ²				
住宅街区	6,145.16 m ²				

○7,000万で大和ハウスへ売却

○5億8,000万で買い戻し

※エリア内の電源は太陽光である。

※公民館、地区センター、図書館分館

- ・環境配慮型設備の導入
- ・非常時対応型の電力供給システム
- ・ガス設備の採用による効果
- ・サイネージによるエネルギー見える化システム
- ・空気浄化緑化ユニット

※公園設備（災害対策機能を備えた公園）

- ・災害対策機能のあるパーゴラ（防災パーゴラ）
- ・トイレスツール
- ・防災備蓄倉庫

※住宅

- ・全戸3つの電池を搭載

1) 太陽電池

2) リチウムイオン蓄電池（ハイブリットタイプ）

- ・家庭用燃料電池（エネファーム）

地 価 坪 15万～18万（60坪）

住宅 4,000万～5,000万

計 5,000万～6,000万

交 通 バス停 約50m

約350m

市電停 約900m

※市等からは、補助金なし

【まとめ】

すばらしい理想的なまちづくりだと感じられた。しかし、コストが高いので個々の建物で検討するのは良いが地区としておこなうのは白石市としてはかなりハードルが高く、難しいと思われる。

しかし公園等に防災パーゴラ、トイレスツール、防災備蓄倉庫等を白石市としても可能なかぎり設置すべきである。私は実現したい。

○魚津市、富山市よりいただいた資料は今後の政策にいかす為、個人で保有する。